



発行 印教研理科部事務局 成田市幸町243-1 成田小学校内

印教研理科部新会員として

印播地方出張指導主事 安藤 義雄

この度の定期異動で、はからずも印教研理科部の先生方とお会いできる機会を得られ、大変うれしく存じております。

印教研は、永い歴史と伝統があり、特に理科に携わる先生方は、研究心が旺盛で、過去は勿論、現在も、すばらしい実績を挙げられておりますことと、日頃、関係各方面の方々に聞かされておりました。その先生方の仲間に入らせていただき勉強できますことを感謝しております。

着任して一か月有余、ほんの一部の学校訪問しかしておりませんが、過去の経験から、日頃感じていることについて述べてみたいと思ひます。
○小、中学校指導書(理科編)を今一度読んでほしい。
教科書や、教師用指導書は、よく読まれています。今回の改訂の趣旨、性格、目標、内容等について、案外読まれていません。それらの内容について解説されていますので、何を教材としてとりあげたら本質をついた指導ができるか等、大変参考になります。

私の教材研究

佐倉中 加藤 英也

授業が生徒達にとって待ちどおしいようなものにならないか。喜んでやる授業にならないか。現実には毎日なされている授業になるとなかなかそうはいかないものである。
そこで、授業者の個人的問題はひとまずおいておいて、教材について分類を次のようにしてみた。

- ① 真理探究型
② 生活関連型
③ 技術・生産問題型
教材を通じて、生徒の変容を期待するならば、その教材の存在価値は、この三つのいずれかの型には

印播教研の今後のあり方

小学校高学年分科会講師 折目 庸雄

しばらくぶりで印播教研に参加して、気づいたことを簡潔に述べてみよう。
一、長期研究としての設定
各研究が三、四年の長期に計画されている。そのために、現場の問題を拾ってじっくりと着実に進められていることは、望ましい姿

と見えよう。が時間をかけた割合に質が高くなってきているだろうか。文献研究や、過去の研究の上に立ち、取りたいだけはいけません。
武藤校長先生を中心として、印教研理科部の益々の発展を祈念し、着任の挨拶といたします。

今、三つの型について説明してみたいが「生徒が興味深く意欲をもって理科学習にとりくめる」という観点で見れば、科学的発展を促すには、科学的発展の人間であったことも考え合わせる。
① 印象的面白さ(感覚的に単純に面白い)

② 歴史的面白さ(歴史的な流れの中で、自分の学んでいることの見通しがつく面白さ)
③ 科学的面白さ(知識が体系化してつながり、全体像が明らかになる面白さ)

このことを逆に生徒の側から見た場合に、また次の三つの面白さという点を扼えられる。
① 印象的面白さ(感覚的に単純に面白い)

栽培

花壇

花壇学校の除草急入りしよう。今一番種物が育つ時です。雑草も伸びます。メシバ、スベリヒユ、カタバミなど早期に抜き取りましょう。

鉢物には油カスと骨粉を水でぬり発酵させたものを置肥として使う。或はハイポネックスの水溶液を週一度施すとよい。

花壇には雨が降り直後、化成肥料(水溶性のもの)を根本に少量与えることよい。

病虫害の予防や駆除しよう。アブラムシにはスミチオンやエストック。病気にはダイセンなどがよいでしょう。
(六合小 藤崎 正雄)